

## 「介護予防ケアマネジメント検討会議」の実施について

### 1 趣旨

介護保険の基本理念である「要介護状態等の軽減又は悪化の防止に資する」に立ち返り、高齢者の QOL（生活の質）の向上とケアマネジメントのさらなる質の向上を目的として、多職種協働によるケアマネジメントの検討をおこなう。

### 2 国・府との協働

- ・厚生労働省が平成 28 年度から実施する「介護予防活動普及展開事業」（別紙 1）において、全国 10 団体のモデル自治体に堺市を選定（大阪府内では他に羽曳野市、泉南市とともに選定）
- ・大阪府はモデル 3 市を主な対象として「介護予防市町村支援事業」を実施し、介護事業関係者向け研修会の開催などを支援（次年度は対象となる自治体を拡大する予定）

### 3 堺市における平成 28 年度の実践

#### ○先行都市視察

平成 28 年 7 月 13 日 桑名市  
平成 28 年 12 月 27 日 生駒市  
平成 29 年 3 月(予定) 大分県

#### ○介護予防ケアマネジメント研修会の開催

主 催：大阪府、堺市、羽曳野市、泉南市

対象者：介護予防活動普及展開事業モデル参加市（堺市、羽曳野市、泉南市）職員  
及び 地域包括支援センター職員 等

内 容：

- 【第 1 回】平成 28 年 9 月 21 日 講演①「大阪府の介護施策の現状と今後求められる地域における介護予防活動」  
講演②「自立支援にかかる自立支援型ケアプランと地域ケア会議について」
- 【第 2 回】平成 28 年 11 月 2 日 講演 「介護予防ケアマネジメントの実践～自立支援型ケアプランの実践に向けて～」
- 【第 3 回】平成 28 年 11 月 8 日 自立支援型ケアマネジメントの実践①
- 【第 4 回】平成 29 年 1 月 23 日 自立支援型ケアマネジメントの実践②
- 【第 5 回】平成 29 年 1 月 24 日 自立支援型ケアマネジメントの実践③

#### ○介護予防ケアマネジメント検討会議のモデル会議の開催

大阪府との協働事業である「介護予防ケアマネジメント研修会」の成果を踏まえ、「平成 28 年度介護予防ケアマネジメント検討会議（モデル実施）概要」（別紙 2）のとおり開催

《 検討会議（モデル会議）参加者の意見・感想 》

- ・専門職からの助言により、新たな気づきが生まれ、プランナーの視点が広がると思った。
- ・助言をプランに反映しなくても、別の事例に役立てることができる。
- ・義歯、栄養の大切さが良く分かった。
- ・実際に入っているヘルパーさんやサービス提供事業所が参加できればよいと思う。
- ・地域支援の情報もあるとよい。
- ・抽象的な提案があった。具体的なアドバイスを受けたい。
- ・専門職が直接本人にアドバイスして欲しい。その方が本人が納得されるように思う。
- ・この手法が効果的な場合と、そうでない場合があると思う。
- ・介護保険での支援が妥当なのかといった視点が今後必要になると思う。

《 課題 》

- ①リハビリ専門職が訪問を行い、ケースの環境設定や動作確認をしたうえでアドバイスすることが必要である。また、歯科衛生士や栄養士が個別に相談できるしくみが必要である。
- ②介護保険外で利用できる、地域のインフォーマルサービスの情報の集約と情報提供方法を検討する必要がある。
- ③ケースの状態に応じて、自宅でできる運動のパンフレット等の媒体が必要である。
- ④アセスメントの際に、口腔、栄養、服薬内容等の医療に関する情報が必要である。
- ⑤各々のアドバイザーの確保が必要である。
- ⑥会議で検討したケースに関する、その後の評価が必要である。

4 平成 29 年度以降のロードマップ（案）

	平成 29 年度				平成 30 年度以降
	4～6 月	7～9 月	10～12 月	H30 年 1～3 月	
厚生労働省	●アドバイザー中央研修 ●司会者中央研修		●ガイドライン 全国配付		
大阪府	●能勢町、吹田市事前研修 ●アドバイザー会議開催 ●戦略会議開催		●トップセミナー開催 ●ガイドライン研修実施 (ケアマネ協会、事業者)	●戦略会議開催	●新たなモデル市町村支援
	●モデル市町別個別研修会開催（5市）				
	●介護予防市町村支援委員会（第1回）開催		●介護予防市町村支援委員会（第2回）開催		
●モデル市町村へアドバイザーの派遣					
モデル市	●司会者研修受講 ●戦略会議参加			●戦略会議参加	
	●介護予防市町村支援委員会（第1回）参加		●介護予防市町村支援委員会（第2回）参加		
		●自立支援型地域ケア会議の開催及び自立支援ケアマネジメントの定着 ●管内ケアマネ、事業等研修会			
堺市	●ケアマネ・サービス事業者向け説明会（5月予定）	●介護予防ケアマネジメント検討会議本格実施（7月以降の予定） ●所管課リハビリ専門職によるサービス事業者訪問 家庭訪問、サービス担当者会議への出席			

(別紙1)

抜 粹

---

# 平成28年度介護予防活動普及展開事業 事業計画素案


---

7月1日版

# 1. 事業の目的

- 生涯現役社会を実現するため、先進的な市町村で取り組んでいる効果的な介護予防の仕組みを全国展開し、元気な高齢者を増やすことを目的として実施する。
- 具体的には、①介護予防における市町村のリーダーシップ構築、②市町村が主体的に介護予防に取り組むための組織づくりと運営、③効率的・効果的な短期集中介護予防プログラムの実施と地域の受皿づくり を全国の市町村で実践できるよう、技術的な支援を行う。

市町村による取組の好事例


**例) 和光市** 

介護予防への重点的な取組により、要支援者の状態が改善

**保険者のリーダーシップ**


**地域のニーズ把握**

保険者主導の多職種連携

ケアマネジャー、PT、OT、管理栄養士等の多職種が集まり、個別のケアプランを地域ケア会議で検討、等々 


全国展開に向けて必要となるポイント抽出

全国展開のポイント



実態把握・分析・課題抽出


ノウハウの共有、人材育成

専門職能団体等との連携 

住民の意識向上

市町村・都道府県・国・民間の協働により全国展開を推進

都道府県による普及展開の好事例

**例) 大分県** 

県の主導により市町村の取組をリード

**県のリーダーシップ**

先進地からの講師派遣・研修

専門職能団体等との連携

全国展開に向けた取組

**市町村の保険者機能の抜本強化策について、次期制度改正に向けて検討するとともに、可能な限り前倒し**

【検討事項の例】

- 要介護度、介護費等の分析と課題抽出 (※)
- 具体的な数値目標の設定・達成度の評価
- 市町村の取組へのインセンティブ付け 等

(例) 要介護認定率の比較分析

認定率 (%)

平成27年

平成23年

18.0

17.3

19.6

18.6

10.0

9.6

9.3

8.0

全国

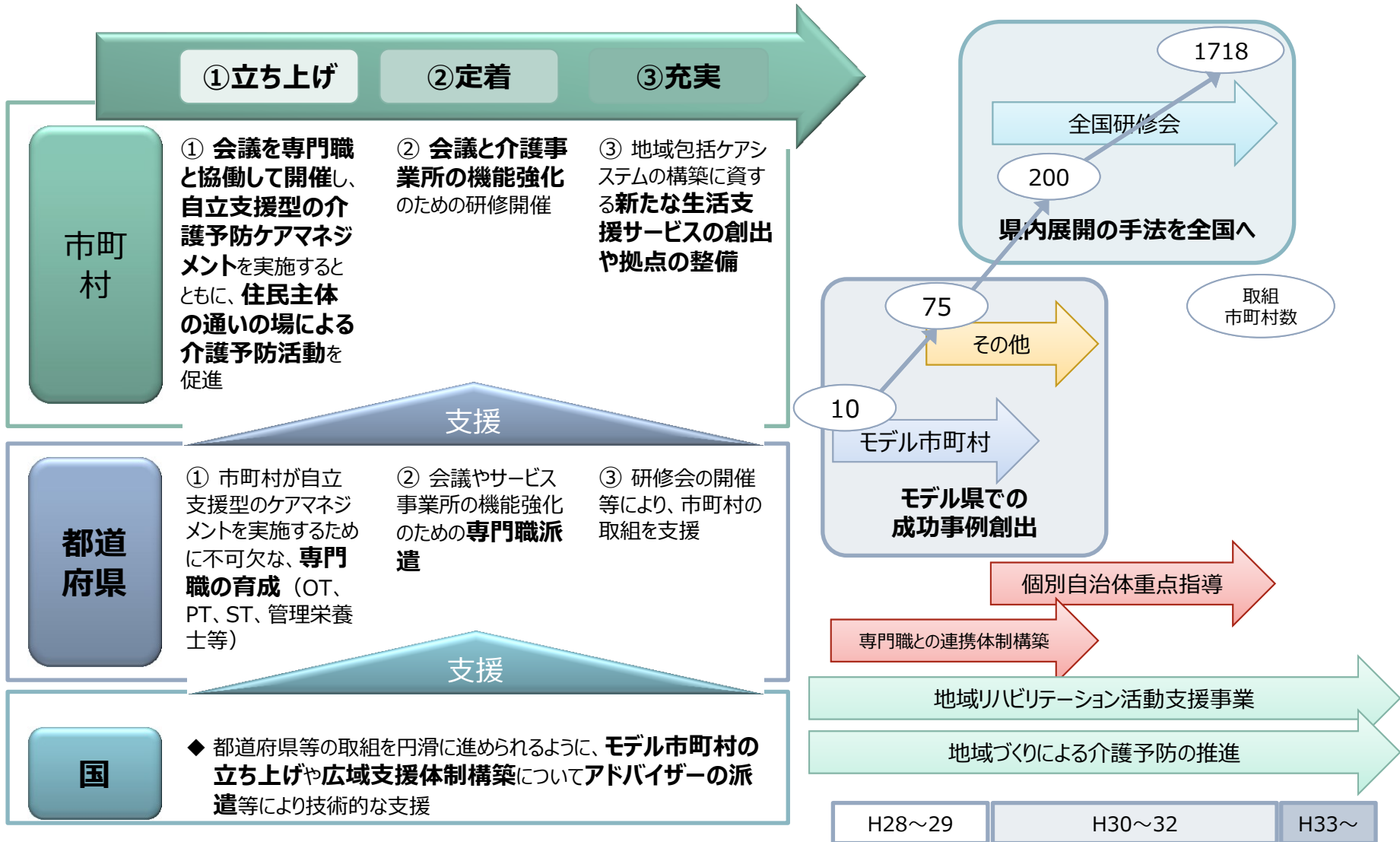
和光市

大分県

全国平均の認定率は4年間で上昇しているものの、和光市・大分県は低下

## 2. 事業の実施内容 ～中長期的なロードマップ～

- 大分県の事例を参考に、都道府県による市町村支援体制を整備し、和光市等の自立支援に向けた介護予防ケアマネジメントの仕組みを全国に普及する。



## 2. 事業の実施内容 ～実施内容（平成28年度）～

- 全国の市町村における以下の①～③の取組を強化するため、先進事例から普遍的なノウハウを抽出、普及し、実践につなげる。

- ① 介護予防における市町村のリーダーシップ構築
- ② 市町村が主体的に介護予防に取り組むための組織づくりと運営
- ③ 効率的・効果的な短期集中介護予防プログラムの実施と地域の受皿づくり

### (1) 介護予防活動普及調査事業

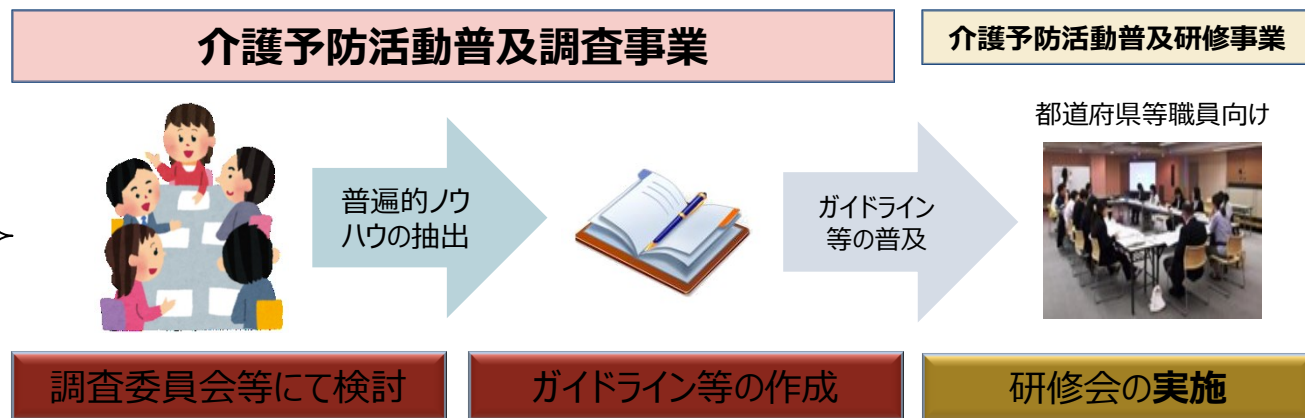
介護予防に積極的な自治体において取り組まれている、「要介護状態からの卒業」を見据えた介護予防の手法について、全国の市町村において取り入れることができるよう、**普遍的なノウハウを抽出し、ガイドラインを作成する**。都道府県との連携の下、ガイドラインに沿った取組を全国の市町村が実践できるよう、**研修・フォローアップのためのカリキュラムを策定し**、市町村に提供する。

### (2) 介護予防活動普及研修事業

上記研修カリキュラムを用いた研修会を試行的に開催し、ガイドライン、カリキュラム改訂時に内容の充実を図る。



自治体における先進事例



## 平成 28 年度 介護予防ケアマネジメント検討会議 (モデル実施) 概要

## ○目 的

介護保険の基本理念である「要介護状態等の軽減又は悪化の防止に資する」に立ち返り、多職種協働でケアマネジメントを検討することで、高齢者の QOL (生活の質) の向上とケアマネジメントのさらなる質の向上をめざす。

## ○対象プラン

基本チェックリストで「口腔機能の低下」「低栄養」「認知機能の低下」のいずれかに該当する包括プラン

## ○開催日時

2月 2日 9:30～	案件①：南 1	案件②：南 2	案件③：中 2	案件④：中 3
2月 7日 13:30～	案件①：東 2	案件②：南 4	案件③：北 4	
2月 9日 13:30～	案件①：北 1	案件②：北 2	案件③：北 3	
2月 10日 9:30～	案件①：堺 2	案件②：堺 3	案件③：堺 4	案件④：堺 1
2月 10日 13:30～	案件①：西 1	案件②：西 2	案件③：西 3	案件④：美原 1

## ○出席者及び役割

- 司会 : 市、基幹型包括支援センター  
 プランナー : 地域包括支援センター  
 アドバイザー : 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、歯科衛生士、管理栄養士

## ○提出資料

- ・利用者基本情報
- ・基本チェックリスト
- ・介護予防サービス・支援計画表 A 表、B 表、C 表、D 表
- ・課題整理総括表

## ○会議のながれ

- ・1 件あたり 35 分程度で検討し、案件の間には 10 分の休憩を挟む。
- ・アドバイザーは、休憩時間の間に次の案件資料に目をおしておく。

内 容	所要時間	備 考
地域包括支援センターから概要説明	5 分	基本情報・プラン表・課題整理総括表をもとに説明
アドバイザーから質問	1 0 分	アドバイスするうえで必要な情報の聞き取り
アドバイザーからの提案	1 0 分	各専門職から、具体的な課題解決 に向けた提案
司会者によるまとめ	5 分	支援方針等の確認
会議参加者の感想	5 分	会議を受けての感想

## 平成 29 年度 介護予防ケアマネジメント検討会議 概要 (案)

### 1 目的

介護保険の基本理念である「要介護状態等の軽減又は悪化の防止に資する」に立ち返り、多職種協働でケアマネジメントを検討することで、高齢者の QOL (生活の質) の向上とケアマネジメントのさらなる質の向上をめざす。

### 2 対象者

新規申請のうち、要支援認定を受けた方の中から抽出する。

### 3 開催回数

月 6 回、1 回あたり 5 件程度

参考) 堺市内 新規ケース 要支援 1 : 3,000 件/年 要支援 2 : 2,500 件/年

### 4 参加者

司会 : 市、基幹型包括支援センター

プランナー : 居宅介護支援事業所、地域包括支援センター

サービス事業所 : 訪問、通所サービス事業所

アドバイザー : 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、歯科衛生士、管理栄養士

### 5 提出資料

- ・利用者基本情報
- ・基本チェックリスト
- ・介護予防サービス・支援計画表 A 表、B 表、C 表、D 表
- ・課題整理総括表

### 6 会議のながれ

内 容	所要時間	備 考
プラン読み込み	5 分	
ケアマネジャーから概要説明	5 分	基本情報・プラン表・課題整理総括表をもとに説明
アドバイザーから質問	10 分	アドバイスするうえで必要な情報の聞き取り
アドバイザーからの提案	10 分	各専門職から、具体的な課題解決 に向けた提案
司会者によるまとめ	5 分	支援方針等の確認

また会議と併せ下記の取組みを行う

- サービス事業者訪問
- 家庭訪問
- サービス担当者会議への出席

※会議対象ケースのうち要望に応じ市の所管課リハビリ専門職員が対応する。